

# 積乱雲にご用心!

## 積乱雲

### 急な大雨・雷・竜巻を発生させる雲です



20kmはなれた場所から見た積乱雲 この雲の下では…

積乱雲の下では  
どんなことが  
おきるのかな



6月になって九州は大雨となりました。九州の広い範囲で、いつもの月と比べて1.5倍から2倍の雨がふりました。梅雨があけると、晴れの天気が多くなりますが、急に天気を変えてしまう積乱雲が多く発生します。晴れていても積乱雲が発生しそうな日には、雷注意報が発表されますので、このときは特に急な大雨・雷・竜巻に注意しましょう。



急な大雨で、あっという間に川の水が増え、流れが激しくなります。川のそばからはなれて!



雷がおちたり、突風でゴールがふき飛ばされたりします。建物の中に入って!

## 大雨がふると、身近なところが、こんな危険になる!?

## イメージしてみよう



2008年8月8日 福岡市防災・危機管理情報Webによるライブカメラ画像。10分間に水位が2m上がることもあります。橋の下での雨宿りはとても危険です!



川の水がふえて、とり残されたり、流されたりします。雷がおちる危険があります。

通学路のそばを流れる小川。家族でバーベキューをする川原。ふだんは何でもない場所が、急な大雨や雷で、危険な場所になることがあります。竜巻がおそってくることも、だっています。

「まさか!」と思うかもしれませんが、このような自然の現象で毎年のように人が亡くなっています。

みなさんの周りにもありますよね、こんな危険。「自分や家族はだいじょうぶ!」と思っていないませんか?

**注意** 空の変化「真っ黒い雲」「雷の音」「急な冷たい風」を感じたら、安全な場所へ!



### 防災・お天気フェア2016

日時:8月20日(土) 10:00~16:00

場所:福岡管区気象台(福岡市中央区大濠)

予約不要  
参加無料

防災・お天気フェア2016は、気象台の施設見学、観測機器の展示や実験を行います。楽しみながら防災を学べるイベントです。ぜひ、ご家族そろって、ご来場ください。



2016年	7月6日	水曜日
平成28年		
福岡管区気象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp	
(ご意見・ご要望はこちらまで)		

## 「お天気 Q&A」

Q: 雷はどのくらい近くだと危険?

A: ゴロゴロという雷が鳴る音が聞こえたら、そこには雷がおちる危険があります。雷までの距離は、音の進む速度(1秒で約340m)から計算できます。光ってから音が聞こえるまで、何秒かを数えると、距離が計算できます。

何秒か	雷までの距離
30秒	約10km(もう危険な距離)
10秒	約3km
3秒	約1km

※ 雷の音が聞こえなくなって、20分くらいまでは危険です。この距離の計算は、花火大会でも試すことができます。花火が大きく開いてから、音が聞こえるまでの時間を計って、計算してみましょう。

## 気象情報へのアクセス

積乱雲のことを知るには	
災害から身を守ろう	検索
防災・お天気フェア2016	
福岡管区気象台	検索